

# 千里メイプル ロータリークラブ

創立 1998年6月13日



例会日 毎週木曜日 18時30分  
例会場 ル・ジャルダン  
会幹 長 水島 洋  
事 山本 友亮

2021-2022年度 RI テーマ

**SERVE TO CHANGE LIVES**

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

会長 シェカール・メータ

2022年 3月24日発行 会報 第1095号

## 今週のプログラム

(2022年 3月24日 第1095回例会)

### 【ZOOM例会】

卓話：「中古車市場の近況」

担当：高田 宗慶 会員

## 次回のプログラム

(2022年 4月7日 第1096回例会)

『お花見例会』

担当：藤田 芳浩 親睦委員長

## 第1094回例会 (2022年3月17日) の記録

### <会長の時間>

水島 洋会長

皆さん、こんばんは。

アクサさん ようこそ。

本日は、プログラム作成時には予備日とさせていただいていましたが、1ヶ月ほど前に相原 正雄会員に卓話をお願いし、快くお引き受けいただきました。相原会員の卓話は、SLの現地訪問記などで楽しく興味深いものでした。今回も「SL人吉」というテーマでお話いただきます。

SL、機関車といえば、岐阜に住む4歳の孫は「機関車トーマス」に夢中でして、プラレールという模型を組み立てたり、京都鉄道博物館に行ったりしています。また、私より上手にYou tubeで機関車トーマスを見て楽しんでます。

「三つ子の魂 何とか」と言いますので、いい趣味を持ち続けて欲しいものです。

本日は、どうぞよろしくお祈いします。



<本日のビジター> 2021 学年度 米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニさん

<出席報告>

会員数（内出席免除会員 1 名） 17 名  
本日の出席者数 12 名  
（内出席免除会員 0 名）  
（名誉会員 0 名）  
本日の出席率 75%



<ロータリーソング>

全会員

♪花♪

春のうららの隅田川 上り下りの 船人が  
權の雫も花と散る ながめを何にたとふべき  
  
錦織りなす長堤に くるればのぼるおぼる月  
げに一亥も千金の ながめを何にたとふべき

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. 本日、最新のプログラムをグループメールにて配信致しましたので 6 月末までの例会予定をご確認下さい。
2. ガバナー事務所より、事務職員名が使われている なりすましメールに対する注意喚起がありました。発信元のアドレスをご確認いただき、ガバナー事務所のアドレスからでは無いメールは決して開かず直ちに削除してください。

\* 昨晚、福島で震度 6 強の地震が発生しましたので、福島 21RC 伊藤直前会長に様子をお伺いしました所、会員の皆様はご無事であるとのことでした。  
また、福島在住の渡邊会員のご両親もご無事であると木下会員からご報告がありました。

<3 月 10 日開催 次年度理事会 議事録>

山本 友亮 幹事

山田 克子会長エレクトの次年度方針について

こんな時代だからこそ、次年度は特に親睦に力を入れたいと思っております。  
新会員を増やすことも重要であります、現会員との、より濃厚な親睦を図ってまいります。  
旅行も日帰り旅行を含めて藤田親睦委員長のお力もお借りして実現したいと思います。  
また、物故会員のご家族や退会された会員ともお話できる機会を作りたいと思っております。  
会員の皆様からのお声がけを是非ともお願い致します。

\* 同日、水島会長からご提案がありました米山奨学生アクサ・メイリアナ・インタニさんの RYLA セミナー受講推薦が承認されました。

## <卓話>

## 「SL人吉」

相原 正雄 会員

これまでに「SLよこかわ」「SLみなかみ」「SLやまぐち」「SLかわね路号」「SL銀河」などの5路線の乗車体験記をお話しして来ました。今回は、「SL人吉」をご紹介します。

「SL人吉」は鹿児島本線の熊本駅を起点として矢代駅からは肥薩線経由で球磨川沿いに人吉駅を终点とします。総距離90Kmを2時間30分かけて、2020年7月までの毎年3月から11月末までの土日祝日と夏休み期間を臨時快速列車として運行されておりました。この列車は、九州の鉄道路線を運行する唯一のSL列車であります。この列車を牽引するSL 58654（8620型）は1922年 日立製作所で国産化されたSLで、日本で活躍する最古のSLであります。無鉛化政策で1975年3月まで九州各地を走行し、総走行距離は334万Kmに達し地球を84周したSLです。引退後は人吉市で展示保存されていましたが、1988年（昭和63年）7月に復元され、「SL人吉」として活躍している貴重なSLであります。2020年7月の熊本県を中心にした九州豪雨により、肥薩線の矢代駅から吉松駅間の路線と鉄橋が流失し「SL人吉」は運休となっております。

さて、「SL人吉」の終着駅である人吉市は、九州山脈の盆地の藩主 相良氏により鎌倉時代から明治維新までの700年間の15代にわたり繁栄した城下町であります。球磨川は、最上川（山形県） 富士川（長野県・山梨県・静岡県）の3大急流といわれています。球磨川は、九州山脈のほぼ中央から人吉盆地を貫流し狭い峡谷に雨水が流れ込みと多数の巨岩にさえぎられて急流を呈しておりました。相良藩の商人が多額の私財を投げうって巨岩を取り除き、人吉から矢代までの河川の改修工事を行い川船による物資の運搬を可能となり繁栄を築いたといわれています。「SL人吉」の運行される肥薩線は、1909年（明治42年）開業していますが、球磨川を渡る鉄橋は球磨川第一橋梁・第二橋梁があり、アメリカン・ブリッジ製で1906年（明治39年）に製作後に輸入されて九州山脈の中央まで橋梁を輸送して設置する難工事がなされています。残念なことに肥薩線の矢代駅—吉松駅間は、2020年7月豪雨により、路線とこの橋脚が流失し不通となっております。現在、路線の復活が望まれてはいますが、開通の見込みはなくバス路線に変更となる懸念があります。

九州山中の安らぐ景色や球磨川に写る情景を眺め、城下町の人吉市でレトロなバスに出会い、日本最古のSLの旅をすると、70年前に杜の都・仙台で過ごした青春時代を思い出すことが出来た旅行でした。なお、現在は「SL人吉」の名を残し、鹿児島本線の熊本駅—鳥栖駅間を土日祝日で不定期運転なされており、日本最古の国産SLの勇姿に出会えることが出来ます。

